

高校生の実体験はごく限られたものですが、読書を通していろいろな人の考えを知り、さまざまな体験をすることができます。また、言葉の数を増やすこともできます。

**授業前の朝10分間、静かに読書することで、
自分をグレードアップさせよう！**

4月10日(金)「朝の読書」スタート

「朝の読書」の目的～3つの力の育成

①読書力

読書力とは、読書を通して身につけられる力のことで、例えば、漢字力、読解力、根気強さ、などがあげられます。読書力をつけることは、全ての教科・科目の学力向上につながります。

②進路を選択し、実現する力

進学や就職の受験の際、小論文や作文、履歴書、面接などで自分自身を表現したり、PRしたりすることが必要になってきます。読書によって、言葉を鍛え、語彙を増やし、文章力(表現力)をつけましょう。

③自ら学び自ら考える、生きる力

授業として毎日読書をすることによって、読書習慣をつけましょう。そして、自ら学び自ら考えて、人間関係力や自分の能力を活かす力など社会人として生きる力を身につけましょう。

「朝の読書」の約束

◆自分で本を準備し、持ってくる。

- ・読む本は、各自で選択する。ただし、教科書・マンガ・週刊誌・雑誌・新聞・写真集・参考書などは対象外とする。

◆登校時刻は8時35分。すぐに支度をして、朝の読書を始める。

- ・登校後、今日の勉強の準備をしたら(今日使う教科書等を机の中に入れ、使わないものや、電源を切った携帯等をロッカーにしまい、鍵をかけた後)、すぐに着席して、読書をはじめる。
- ・8時40分に着席して読書をしていないと「朝の読書」の時間は欠席になる。

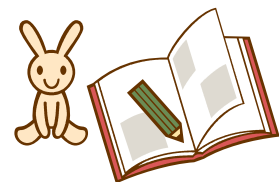
◆時間内は、静かに読書をする。

- ・読書をしない人は、「警告」となる。

◆定期試験ごとに集計して、「欠席」と「警告」の和が10回以上の人は補習(100分読書)を受ける。

- ・補習は、1・2学期の定期試験最終日に、計4日間を設定する。

◇遅刻をした人は、静かに入室して読書を始める。



「総合的な学習の時間」の一部

「朝の読書」は、1日10分間×5日間の50分間で「総合的な学習の時間」の1時間分の授業になるため、「朝の読書」の欠席が多くなると進級・卒業できなくなることがあります。毎朝きちんと取り組みましょう。